



発行 静岡県立浜松西高等学校同窓会
 発行人 御室健一郎
 編集 町田 晃
 印刷 同窓会報編集委員会
 電話 053(456)0662
 (有)ケーエス企画

発行部数 15,600部
 浜松二中卒業生 2,041名
 浜松西高卒業生 25,273名
 (内女子 5,772名)
 内31年度卒業生 243名 (114名)

令和の時代になっても チャレンジ精神を忘れない。 夢ingの彼らにエールを！ 「ハイザー西高」

音楽、マスコミ、スポーツ、文芸、映画の世界で活躍中の西高卒業生。その誰もが高校時代の思い出を熱く語ってくれました。今の自分があるのはあの時代があったからこそ。多くの卒業生が今も胸を熱くする「ハイザー西高」のエールを再び！

〈高校生としての思い出〉
 中学の頃は運動も勉強もそこそこだと思っていた自分が、なんとなく西高に入ってから周りのレベルの高さに衝撃の連続でした。体育の授業では圧倒的な身体能力の差を見せつけられたり、一緒になって遊んでいたはずの友人たちが、テストとなると、セル

西高生にセルフマネジメント能力の高さ
 シンガーソングライター
 高52回卒業
岡野宏典 (おかの ひろのり)



敵な音楽を紹介、発信していきたいという思いを抱くようになり、同郷の先輩である浅田信一氏(元スマイル)と共にイベント「うなぎの街からこんにちは」をLivehouse浜松窓枠にて開催しています。音楽に触れる場所として、ライブハウスという空間がもっと身近になればという願いも込めてやっていますので、一度足を運んでいただくと嬉しいですね。

岡野宏典(作詞/作曲)クレジット表記は本名岡野宏範(2007年、シングル「レモネード」でユニバーサルミュージックよりメジャーデビュー。全国メディアで25を超えるパワープレイ、ヘビーローテーションを獲得。これまでシングル12作品(ライブ会場限定シングルを含む)、アルバム3作品をリリース。現在「K・mix」岡野宏典が全力投球!! 静岡エフエム放送にて、毎週土曜日18時30分~18時55分 ON AIR中! 自身のライブ活動に加えて、ギター・ヴァイオリンでのアーティストのライブサポートや、インストゥルメンタルの楽曲制作・提供などを行なっています。

もうひとつは、お互い目指す場所は違えど、嬉しいことも辛いことも共有して真剣に取り組んだ高校三年の受験勉強でしょうか。あの頃よく聴いていた音楽は、一瞬で当時の記憶や自習していた教室を思い出させてくれます。記憶と深く繋がる音楽の存在...自分の作る音楽も誰かの記憶や感覚の一部を呼び起こすものに成り得たらという思いで作品を残しています。故郷を離れて10数年...地元は素



ハイザー西高精神で、日本一に!

アナウンサー

高52回卒

鬼頭里枝

(きとうりえ)

Time flies like an arrow.

浜松西高を卒業して何年、と振り返るのも怖いぐらいに月日の経つのは早い。英語の単語テストで暗記した「光陰矢の如し」まさにそれです。大学を卒業して鹿児島島の放送局を経て地元静岡放送に入社し現在はフリーアナウンサーとして午前中の情報番組「so.いいね」で司会や中継、Jリーグ清水エスパルスのピッチリポーターなどを担当しています。高校時代の三年間は陸上部に所属しマネージャーとして仲間と一丸となり目標に向かって努力する楽しさや勝負の厳しさを学びました。文化祭では広い29HRの教室でお化け屋敷をして乗り物

を走らせたり、修学旅行では生徒にお任せの班行動をさせてもらえたり、先生方には生徒の自主性を重んじ、許される範囲の中でのびのび自由に経験をさせていただいた記憶ばかりです。そして大学受験や就職活動の時など辛い時「ハイザー西高ハイザー西高フレオーオー」が頭の中に浮かんできて今も自分を励ましてくれます。

現在「10代と10代を経験した全ての人に」をコンセプトにお届けし



ている毎週土曜日の生放送のラジオ番組が今年11年目を迎えました。嬉しいことに母校凱旋取材も叶い、久しぶりに訪れたグラウンドや教室にあの頃の自分がシンクロしました。スタッフは図書室で見た卒業アルバムに衝撃を受けていましたが、今も変わらない陸上部の蛍光ジャージは微笑ましく練習に励む学生達は頼もしくもありました。

番組の中では二択クイズに5問連続正解すればお小遣い1万円プレゼントという名物コーナーがあり、現役学生とのトークの中では西高時代に学んだDUO単やマドンナ古文などの話で盛り上がる事ができ、あの頃真面目に?学んでおいて良かったなと思います。

今年はこちらの活動を認めて頂き日本一のパーソナリティに贈られるギャラクシー賞DJ部門・パーソナリティ賞という恐れ多い賞をいただきました。青春真っ只中の西高時代に学んだ事や、のびのび精神と共に仲間とコツコツと好きなことを続けてきたことが、日本一に繋がったのだと思います。こ



れからもハイザー西高精神で大好きな静岡を盛り上げて行きたいです。そしていつどこで西高生に会っても胸を張れるように、色々な事に挑み続けて行きたいと思っています。

『ギャラクシー賞とは』

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、優秀番組・個人・団体を顕彰する賞。放送業界において格式の高い賞の一つ。ギャラクシー賞「ラジオ部門DJ・パーソナリティ賞」の過去の受賞者は、星野源、久米宏、伊集院光、荻上チキ、吉田尚記など。



第56回ギャラクシー賞テレビ部門の特別賞は、『BS1スペシャル「ボルトとダシヤマンホールチルドレン20年の軌跡」』個人賞は菅田将暉。

日本サッカーの発展に貢献したい!

サッカー日本代表フィジカルコーチ高44回卒

小粥智浩

(おがいともひろ)

現在、茨城にある流通経済大学スポーツ健康科学部で教授として籍を置きながら、日本サッカー協会、育成年代の日本代表チームのコンディショニングコーチ(CC)として活動させて頂いております。CCとし



て、数多く帯同する海外遠征における環境適応(時差適応、暑熱順化など)が主な仕事となっています。いかに早く環境に適応させ、高いパフォーマンスを発揮させられるかがテーマとなっております。また、日本サッカーの弱点と言われる、いわゆるフィジカル面の強化を担当しています。昨年は、ロシアワールドカップ、今年はポーランドで開催された、20歳以下のワールドカップに帯同しました。決してフィジカルで圧倒されることなく、日本の長所を活かした素晴らしい活躍を示してくれましたが、どちらもベスト16で敗退し、上位進出はなりませんでしたが、ワールドカップでの上位進出の鍵は、さなるパワー強化にあるとも感じております。今後も日本の将来を背負う若い選手たちをさらに鍛え上げて、日本サッカーの発展に貢献できればと思っています。



高校時代は、理数科に籍をおいていたものの、サッカーに夢中になりすぎましたが、担任の宮崎先生や仲間たちのサポートがあり、充実した高校生活を送ることができました。振り返れば、大きなトピックは二つ。サッカー部では2年生の時に顧問の先生が交代し、部活の雰囲気が一変。サッカー部の転換期であり、難しい部分もありましたが、多くの刺激をもらった時期でありましたし、我々の卒業後には、後輩たちが大きな成果をあげてくれたのは嬉しかったですね!(少し悔しさもありました)。また、高校3年生の時には、校舎改築により、プレハブ校舎での汗だくの授業、卒業間際に素晴らしい校舎が完成。今思えば懐かしい思い出の一つですが、何か新しいものを作り出すには、生みの苦しみがあることを教えてもらった気がします。何事にもチャレンジする際の教訓ですね。あとは毎朝、あの坂を自転車でかかあがったことですね!(笑)

好きな場面。好きなモノ。夢を大切に。思いを声に。

映画監督
高63回卒

後藤 美波
(ごとう みなみ)



何とかしたいと思っていても、結局何もできなくて、モヤモヤしていた高校時代。自分の世界を広げてくれた場所は、映画館だったんです。お小遣いも限られていて、なかなか映画を観る機会もなかったけれど、毎週映画館に通ってチラシを集めてました。それで、みんなで身近に楽しめる映画を作りたいと思うようになったんです。

今の私の夢は、浜松で長編映画を作ること。浜松に映像美術館を建てること。夢みたいな話ですかね。でも、声に出さないと現実には近づかないんじゃないかって。私の映画を



通して伝えられたことでもあるんですが、スクリーンの中で主人公が「黙ってんなよ、声あげろよ!」と叫ぶシーンがあるんです。それが、一番大切にしてきたメッセージ。今の私たちは抵抗しても何も変わらないと思います。でも声に出さなきゃ変わるものも変わらないよって伝えられたんです。高校時代の失敗なんて大したことじゃないから。周りを恐れなくて自分の思いを出せるだけ声に出して欲しいですね。



後藤美波 (高63回卒) 映画監督

プロフィール／1993年生まれ。浜松市出身。浜松西高を卒業後、東京大学文学部に進学し、美術史学を専攻。卒業後は映画監督を志し、米国のコロンビア大学大学院フィルムスクールで映画制作について学ぶ。在学中に数々の短編映画を制作し、各国の映画祭で上映された。国際ショートフィルム企画コンペでは最優秀企画者に選ばれ、その脚本を映画化した『ブレイカーズ』は浜松の高校生活が舞台で撮影は市内でも行われた。



「ブレイカーズ」出演／浜田龍臣、萩原利久、志田彩良、芋生悠、須藤蓮、寛利夫ほか 脚本・監督／後藤美波

今後も浜松を舞台に、皆さんをビックリさせるような作品を!

ミステリー作家

高40回卒

七尾 与史 (ななおよし)

私はもしかしたら二人分の人生を送っているのかもしれないと思います。一人は歯科医師として、そしてもう一人はミステリー作家として。この二つはまったく違う人生でした。高校を卒業してから一浪したのち、歯科大学に進学しました。当時は医療人になることを目指していたんですが、本当の夢はそこにはなかった。僕は高校時代、映画少年で、今はな



くなつてしまった浜松駅周辺の繁華街の映画館に足繁く通ってました。ホラーからラブコメまで節操なく鑑賞していました。そんなこともあって自分の作った物語を映像化することに強い憧れを持っていました。しかしそれはやはり現実的ではない、芸能人になるに近しい夢物語です。なので夢は夢としてスルーして、実際に歯科医師の夢に向かい突き進み、30代で歯科医院を開業して一国一城の主となりました。

そのころからですかね、小説を書き始めたのは。歯科医院の院長をやっている今、映画監督も脚本家にもなれるはずがない。それでも自分の夢に近づくには……そうだ! 小説を書いてそれを映像化してもらえばいいのだ。そんなことを考えるようになった。そしてこけの一念と言いますが、10年ほどかけてやっとデビューとなりました。デビュー作は『死亡フラグが立ちました!』(宝島社文庫)です。

僕は浜松を舞台とした作品を多く書いています。今後も浜松を舞台に皆さんをビックリさせるような作品を世に出したいと思っています。



この本が売れて売れてデビューからベストセラー作家と呼ばれ、小説誌の連載などもさせていただけのようになりまして。

このデビュー作はドラマ化が決まっており、今年の11月に放映される予定です。全国放映ではありませんが、放送されない地区でも放映後には民放公式テレビポータル「TVer(ティーバー)」にて配信されるのでそちらで視聴できます。

温故知新



同窓会会長
御室健一郎(高16回)

今年は、「平成」から「令和」という新しい元号になった節目の年です。「令和」は、皆さんもご存知のとおり万葉集の梅の花32首の序文「初春の令月にして、気淑く風和らぎ。梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす。」が出典で、「厳しい寒さの後に春の訪れを告げる、見事に咲き誇る梅の花のように、日本人がそれぞれの花を大きく咲かせることができる、そんな日本でありたい。」という意味が込められております。日本語には、ラ行で始まる言葉が少なく、「令和」という言葉には、語音の良さとともに、伝統の中にも清新さを感じられます。

今回の改元で、注目を集めた万葉集。万葉集を知らない人はいないと思いますが、万葉集の研究に生涯を捧げ、国学(日本独自の精神文化を研究した学問)の発展に大きく貢献した浜松出身の人物がいます。そう、賀茂真淵です。賀茂真淵といえは、西高のすぐそばに「賀茂真淵記念館」があり、そこに隣接して賀茂真淵が祀られている縣

居神社があります。「縣居」とは田舎住まいという意味で、近くの小学校の名前にもなっています。が、のちに「真淵翁」のことを指すようになったそうです。記念館・神社ともに雄踏街道沿いにありますので、その前を通って、西高に通学されていた方も多いと思います。同記念館には新元号が発表されて間もなく、万葉集関連の特設コーナーが設けられ、全国からの来館者が増えたそうです。奇しくも今年賀茂真淵没後250年の節目にあたります。皆さんも一度、賀茂真淵記念館に足を運ばれ、身近なところで活躍されていた先人に思いを馳せては、いかがでしょうか。その際には、もう少し足を伸ばし、是非、西高にもお立ち寄りください。

昨今、AI(人工知能)の飛躍的な発展により、AIが人間の仕事を奪う、AIが人間を支配するといったAI脅威論が注目を集めています。本当にAIが人間を支配する時が来るとは考えにくいですが、古いものが新しいものに置き換わる新陳代謝が激しい時代であります。そのような時こそ、「温故知新」、一歩立ち止まって、歴史を振り返り、先人から学ぶという姿勢が大切なのではないでしょうか。

今後も、我々は同窓会活動を通じて、西山台で勉学に勤しむ在校生に伝統と革新を併せ持った最適な環境を整えてまいります。これからも母校出身者が、西山魂で、多彩な方面で活躍することを期待しております。

春の叙勲

瑞宝中綬章

裁判所事務功勞
総合研修所事務局長

辻 正毅(高18回)

秋の叙勲

旭日中綬章

弁理士事務功勞
元日本弁理士会会長

中島 淳(高17回)



瑞宝双光章

教育功勞

元公立中学校長
中野 博(高18回)

旭日小綬章

建設業振興功勞

元一般社団法人全国建設業協会
副会長 伊藤 孝(高19回)



浜松西高の絆と力



校長 松下 和弘

同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

この西山台に立つ浜松西高等学校・同中等部に着任し、二年目となりました。昨年一年は、伝統ある本校での勤務に重い責任を感じる中、同窓会の皆様から、熱い思いのこもった御支援、御助言をいただきました。大変心強く、今後ともどうかよろしくお願いいたします。

着任以来、同窓会の役員の皆様、総会や新春の集いに参加された皆様をはじめ、多くの同窓生の方に直接お会いし、お話を伺う機会が多くありました。

本校の卒業生ではない私にとつて、お会いした同窓生の皆様、浜松の、静岡県産の産業や行政、政治の世界で先頭に立って活躍されている様子が、大変眩しく映りました。

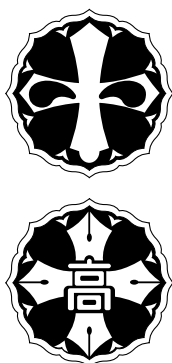
もちろん、ノーベル賞を受賞された天野浩先生をはじめ、学問の世界で高い評価を得ている同窓生、またオリンピックアンをはじめとしてスポーツの世界や、文化芸術の世界で活躍する同窓

生も数多く輩出しています。また、着任以来、市内の中学校に挨拶に伺えば、「私も西高の卒業生なんですよ」と話してくださる校長先生も大変多くいらっしゃいます。

どの方も、それぞれの場所、それぞれの分野の第一線で活躍しておられる、そしてどの方も浜松西高での生活を良き思い出とし、現在の、そしてこれから浜松西高に強い思いを寄せていただいていることが、まさに浜松西高の絆と力のあらわれなのだと気付かされます。

大正から昭和、平成、令和へと、本校の歴史は今年度で96年となります。時代は変われど、変わることなく西山台へと続く三つの坂を上り、そこからの眺めを望みながら学生生活を送った同窓生の皆様と力を引き継いでいる生徒が育つていくよう、微力ながら努めてまいります。

100周年に向けた準備も少しずつ進めてまいります。今後とも、本校の教育活動に対する御支援、御協力をよろしくお願いいたします。



2019年新春の集い 迫力のオープニング映像と おもてなしで新年をスタート

代表幹事

伊藤武郎(高51回)



2019年新春の集いを無事に務め上げることができ感謝しております。

さて、2019年のテーマは「風」を設定させていただきました。それぞれの立場で、それぞれの考えで、自分が今いる場所での良い風を吹かしてほしいと願いを込めて選びました。様々なところで活躍する同窓生を知ることができ、それぞれの立場で活躍されていると感じ、良い風を運んできていると思いました。テーマに沿っての記念誌や企画を1年間通して51回の仲間と準備していく日々は大変でしたが充実した時間だったと思います。幹事になって初めて話した人も多く繋がりを持てたことはかけがえのない財産になりました。新春の集いでは、メインテーマを軸にスペシャルイベントビューとして新春の集いでも演奏して

いただいた栗コダーカルテッ
ドの川口義之さん(高34回)と映画監督の後藤美波さん(高63回)を掲載いたしました。また、活躍している高51回の同級生の紹介、インターハイで好成績を残した現役生の紹介、還暦を迎えられた高29回の先輩方のページと印象に残る記念誌が完成いたしました。

本会では昨年に引き続きウェルカムムービーからのスタートでした。画家としても活躍している石崎万咲(高51回)によるライブペイントに校舎の懐かしい風景や授業、部活動の映像を交えながらどこか懐かしく高校時代を思い出させてくれるような素晴らしい映像作品に仕上げてもうりました。そこで描いていた絵は、自宅に飾らせていただいております。還暦の時まで大事に保管させてもらいますので同級生の皆様覚えておいてください。

今回還暦を迎えられた高29回の先輩方には100人超える圧巻の鏡開きを披露してもらいました。何よりも赤いポロシャツで揃えられた団結力と活力には本当に驚かされました。また、記念誌でも8月に開催した同窓会での笑顔あふれる写真を掲載され、盛り上げていただき感謝しております。

2019年 新春の集い 収支報告書

(単位:円)

収入の部	科 目	金 額	摘 要
	広告売上	8,616,812	広告 407件
	チケット売上	5,753,000	チケット枚数 748枚
	記念品売上	124,700	焼菓子
	雑 収 入	115,000	恩師・来賓よりご祝儀
	預 金 利 息	37	預金利息
	合 計	14,609,549	

支出の部	科 目	金 額	摘 要
	会 場 費	7,407,944	グランドホテル会場費等
	景 品 費	599,578	当日抽選会の景品
	印 刷 費	1,872,899	記念誌、チケット等
	通 信 費	193,167	携帯電話、葉書等
	会 議 費	1,332,588	幹事会、部会経費等
	事 務 費	30,975	文具等
	交 際 費	679,684	西高フォーラム、総会参加等
	渉 外 費	1,376,926	クライアントとの打ち合わせ等
	雑 費	10,460	振込手数料等
	そ の 他	0	
	本会計繰入	1,105,328	
	合 計	14,609,549	

上記の通りご報告申し上げます。

静岡県立浜松西高等学校

第51回卒 2019新春の集い幹事会

代表幹事 伊藤 武郎 ㊞

会 計 川嶋健二郎 ㊞

上記の通り正確に処理され適正と認めます。

平成31年3月12日

会計監査 前田 米藏 ㊞

会計監査 大塚 哲雄 ㊞

なムードを演出していただきました。
大抽選会では例年通り多くの商品を用意し皆様に新春の運試しをしていただきました。当選のたびに各テーブルで歓声が沸き、楽しいひと時だったかと思ひます。

す。絆で結ばれた輪を一層強いものにしていこうという願いが込められているそうです。また、日本も東京オリンピック・パラリンピックが開催される年でもあります。浜松西高同窓会の益々の発展のためにもより一層盛り上がる企画を期待しています。若い世代にも参加してもらえよう、ぜひとも参加の声掛けをお願いいたします。

末筆になりますが、多忙の中、協力を惜しまず活動してくれた高51回幹事の皆様、当日、100人を越えて集まってくれた同級生、本当に感謝いたします。ありがとうございます。今後はともよろしくお願ひいたします。



だいたすべての皆様のご健康とご多幸、益々の発展を祈念いたしまして、代表幹事の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。



- 7 6 5 4 3 2 1
- 議 事
- 平成30年度事業報告
平成30年度一般会計決算報告、および監査報告
- 「2019年新春の集い」事業報告、決算報告、および監査報告
- 令和元年度同窓会事業計画、会報編集計画
- 令和元年度一般会計予算「2020年新春の集い」事業計画

6月8日、土曜日にグランドホテル浜松にて浜松西高同窓会総会が開かれました。総会とその後懇親会にも、多くの会員に出席頂きました。御室健一郎同窓会会長の挨拶から始まり、現校長先生から部活動の活躍や生徒たちの卒業後の進路なども報告されました。そのほか、左記の議題の了承を得ました。

平成三十一年度 (令和元年) 総会報告

5月15日、PTA総会にて浜松西高後援会会長に伊藤孝氏(高19回)に代わり鈴木俊宏氏(高29回)／スズキ(株)代表取締役社長が就任されました。



新後援会会長に 鈴木俊宏氏就任



平成30年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計決算書

前期繰越金	7,868,560円	エアコン設備料貸付	0円
収入総額	5,486,995円	エアコン設備料回収	1,240,000円
支出総額	5,010,154円	次期繰越金	9,585,401円

収入の部

(単位: 円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減額(B-A)	備 考
前期繰越金	7,868,560	7,868,560	0	前年度繰越金
入 会 金	3,600,000	3,630,000	30,000	高校71回卒業生 242名
基金利子金	800	700	△100	甲子園出場記念基金利子配分金
繰 入 金	1,000,000	1,105,328	105,328	新春の集い剰余金
雑 収 入	20,000	76,938	56,938	預金利子、同窓会名簿代等
天 野 先 生 寄 付 金 口	674,021	674,029	8	
エアコン設備 使 用 料	1,240,000	1,240,000	0	後援会より23年度から12年間回収(8回目) 29年度から5年間回収(2回目)
合 計	14,403,381	14,595,555	192,174	

支出の部

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減額(B-A)	備 考
事務費	800,000	922,820	122,820	
事務局費	700,000	825,620	125,620	事務局職員給与、光熱費、パソコン購入他
需用費	100,000	97,200	△2,800	複写機リース料等
会議費	450,000	477,840	27,840	
総会費	300,000	289,704	△10,296	総会会議費
役員会費	150,000	188,136	38,136	役員会会議費
事業費	3,550,000	3,176,954	△373,046	
会報費	2,550,000	2,537,838	△12,162	ホームページ運営費、会報印刷代、送料 会報編集委員会運営費等
助成費	1,000,000	639,116	△360,884	慰霊祭、激励費、西山賞、講演会謝礼 西山台チャレンジサポート事業等
予備費	432,000	432,540	540	
エアコン設備費	0	0	0	
天野先生記念碑 解説版設置費	432,000	432,540	540	
次期繰越金	9,171,381	9,585,401	414,020	
合 計	14,403,381	14,595,555	192,174	

令和元年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計予算書(案)

前期繰越金	9,585,401円	エアコン設備料回収	1,240,000円
収入総額	4,620,700円	次期繰越金	10,546,101円
支出総額	4,900,000円		

収入の部

(単位: 円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減額(A-B)	備 考
前期繰越金	9,585,401	7,868,560	1,716,841	前年度繰越金
入 会 金	3,600,000	3,630,000	△30,000	高72回卒業生 240名
基金利子金	700	700	0	甲子園出場記念基金利子配分金
繰 入 金	1,000,000	1,105,328	△105,328	新春の集い剰余金
雑 収 入	20,000	76,938	△56,938	預金利子、同窓会名簿代等
天 野 先 生 寄 付 金 口	0	674,029	△674,029	
エアコン設備 使 用 料	1,240,000	1,240,000	0	後援会より23年度から12年間回収(9回目) 29年度から5年間回収(3回目)
合 計	15,446,101	14,595,555	850,546	

支出の部

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減額(A-B)	備 考
事務費	900,000	922,820	△22,820	
事務局費	800,000	825,620	△25,620	事務局職員給与、光熱費、パソコン購入他
需用費	100,000	97,200	2,800	複写機リース料等
会議費	450,000	477,840	△27,840	
総会費	300,000	289,704	10,296	総会会議費
役員会費	150,000	188,136	△38,136	役員会会議費
事業費	3,550,000	3,176,954	373,046	
会報費	2,550,000	2,537,838	12,162	ホームページ運営費、会報印刷代、送料 会報編集委員会運営費等
助成費	1,000,000	639,116	360,884	慰霊祭、激励費、西山賞、講演会謝礼 西山台チャレンジサポート事業等
予備費	0	432,540	△432,540	
エアコン設備費	0	0	0	
天野先生記念碑 解説版設置費	0	432,540	△432,540	
次期繰越金	10,546,101	9,585,401	960,700	
合 計	15,446,101	14,595,555	850,546	

平成31年 3月31日 静岡県立浜松西高等学校同窓会 会 長 御 室 健 一 郎
以上のとおり報告します。 会 計 辻 村 昌 彦
上記の決算について証憑書類、出納簿を精査したところ、適正かつ正確であることを認めます。
令和元年 5月15日 会計監査 前 田 米 藏 ㊞ 会計監査 大 塚 哲 雄 ㊞

※科目間の流用を認める

西高創立記念講演会

素晴らしき遠州地域と
学生の皆さんへの期待遠州鉄道株式会社代表取締役社長
齊藤 薫(高23回)

私の生い立ちですが、生まれは静岡県島田市、育ちは島根県浜田市です。島根県立浜田高校で2年生まで過ごし、高校3年生から浜松西高に転校してきました。育ってきた島根県浜田市は、山と海に囲まれ生活空間が非常に狭いところでした。だからこそ分かることがあります。それは、遠州地域は非常に恵まれたところだということです。生まれた時から遠州地域にいらつしやる方には、他の土地との比較ができないと思います。私が育った島根県浜田市と比較すると、交通の利便性や、自然の豊かさ、食品・食材の豊富さなど、恵まれた点を挙げればきりがありません。

このような遠州地域で、私は市民の足となる公共交通などに従事してきました。「移動する」というサービスを通して、市民の皆様の生活に貢献できたことを、今、大変嬉しく思っています。

す。また、生活に必要な住居、すなわちマンションや住宅を提供する仕事に従事し、街づくりに携わることができたことや、浜松駅前再開発の一部を担うことで、浜松市の発展に貢献できたことも、同じく大変嬉しく思っています。

私が、皆さんにお伝えしたいのは、それらの業務には、常に「充実感」が寄り添っていたという事です。そして皆さんにも、私が経験し、感動した、遠州地域の維持・発展に貢献することでも生まれた「充実感」を是非とも将来味わっていただきたいと思っています。

そんな想いととも、皆さんに期待したいことは2つです。1つ目は変化が激しいこの時代に対応し、乗り越える人材に育っていただきたいということです。2つ目は皆さんがまだ自覚していないと思う、この豊かな遠州地域の維持・発展に貢献する人材に育っていただきたいということです。

皆さんは、今後、大学進学で県外に行かれる方がたくさんいらっしゃると思います。都会でいろんなことを学び、経験し、そして社会に出る際は、是非この素晴らしい遠州地域に戻り、少子高齢化など多難な問題を乗り越えて、この豊かな地域を維持し、今以上に発展することに、貢献する人材に育っていただきたいです。



第43回

浜松西高同窓
ゴルフ大会前日の大雨が嘘のよう…
お天気も味方して

第43回浜松西高同窓ゴルフ大会は、令和元年5月15日(水)前日の大雨がすっかり上がり、お天気の下、浜名湖カントリークラブにて開催されました。今回は、申込み開始から早々に史上最高の申込み数となり、私達幹事もありがたい悲鳴をあげながら、組み合わせ表作成など、楽しく準備させていただきました。

今年は高12回の皆さんが喜寿という事で、お写真を撮らせていただきました。また、自分たち幹事年より下の学年の方々の参加、女性の参加が増えたことはゴルフをする方々が全体的に増えているのでは、と感じます。

競技の結果は次の通りです。

○シニアの部(高19回以上) 64名参加

優勝 黒柳建治(高16回)

グロス 89 ネット 69 8

○一般の部 138名参加

優勝 縣 亨(高51回)

グロス 96 ネット 70 8

2位 成田朋正(高34回)

グロス 71 ネット 71 0

3位 佐野 徹(高30回)

グロス 87 ネット 71 4

○レディースの部 7名参加

優勝 花田雪乃(高34回)

グロス 97 ネット 77 8



エイジシュート「82歳で82」達成された高7回山口斌さんとゴルフコンペの大会会長の25回齋藤さん



高12回 喜寿の皆様

幹事学年として携わらせていただいたこの半年間は、新春の集い以来、同級生との繋がりを意識する日々でもありました。テーマは「楽しく」。何回も打ち合わせを重ね、楽しみながら活動することができました。心より感謝申し上げます。来年以降も幹事の皆様には楽しく活動してほしいな、と思います。同級生の繋がりがあって本当にありがたいです。

協賛をいただいた皆様、ご参加くださった皆様、本当にありがとうございます。今後この大会がますます発展していくことを祈念しております。(幹事 高40回一同)



高40回幹事一同

同窓会専用電話・ファックス

☎/FAX 053-456-0662

Eメールアドレス

hama24@hamanishi.org

※毎週火曜日午前10時～12時までは事務員の長尾さん、徳永さんが対応。それ以外はファックス・メール又は、留守番電話にメッセージを録音して下さい。

野球

打撃爆発、 2年連続で北高撃破

4月20日(土)、晴天の下、伝統の「西高VS北高野球部定期戦」が浜松市営球場で開催された。当日は31名のOB精鋭?が集結し、現役戦に先立ちOB戦が行われた。試合は藤田睦夫(高13回)の先発で始まり、初回1点は失うものの老練な投球で無難な立ち上がりを見せた。その裏、西高怒涛の攻撃が始まる。1番藤田睦夫のヒットを皮切りに、2番安達(高24回)、3番田力(高27回)とヒットが続く、以降も40歳以上の選手が力を振り絞り、記録上は13本のヒット(実際にはエラーも...)などで大量10得点。5回からは40歳以下の若手に交代したが、その後も西高は攻撃の手を緩めることなく攻め続け、守つても5人の投手の継投で4失点に抑えた。終わってみれば18対4の大勝であった。昨年のような派手なホームランこそなかったものの、これだけヒットが続くことはめったにないことである。OB達には満足感が溢れた試合となった。



【OB戦結果】

浜松北	10	1	0	0	0	0	1	1
浜松西	10	0	3	0	1	3	0	1
							X	
	18	4						

サッカー

定期OB戦

毎年8月の第1日曜日は、浜松西高校と浜松北高校の現役サッカー部員とOBの方々が集まり伝統の定期戦「西北戦」が行われています。例年行われている県営遠州灘海浜公園球技場が利用できる、本年は浜松西高校グラウンドで久しぶりの開催となりました。現役のころの仲間たちとの思い出が詰まったグラウンドで当時の懐かしさとともにサッカーを楽しむました。ライバルとして切磋琢磨してきた浜松北高校との伝統の定期戦は、1年この歴史ある「西北戦」の永続的な開催、そして浜松西高校サッカー部の発展を心より願っております。



柔道

男子66キロ級で インターハイ出場決定

5月18日に行われた県総体

(個人)男子66キロ級で柔道部2年の水野晶斗君がみごとオール1本勝ちで優勝し、8月に鹿児島で行われる全国総体へ出場を決めました。

全国総体出場は浜松西高柔道部にとって、平成20年の鈴木太(高61回卒)以来、11年ぶりの念願の出場となります。

「公立高校でもやれるところを見せたい」と水野君が言うように、文武両道で頑張っている後輩の活躍が何より誇らしく思えます。

全国総体という大きな大会で力を出し切ってもらいたいと思います。

また、女子では48キロ級において2年生の新村侑郁さんが県3位と健闘しました。

現役部員は、2年生7名、1年生5名、中学生4名と少数精鋭で決して多くはありませんが、各自の努力と渾身監督の指導のもと実力をつけ、私立の強豪校にも引けをとることなく文武両道の伝統を継承しています。

毎年恒例の新春1月2日の稽古始めには、卒業した大学生や20代のOBを中心に集まり、現役部員と合同練習や試合を行うほか、OB同士の交流の場となつていきます。

これから全国総体の応援や現役選手活躍支援を



応援団がなくなった？！

西高トリビア

みなさんの大好きな西高の応援歌、覚えていませんか？ハイザー西高！ハイザー西高！フリーオーオー！

あのフレーズを聞くと妙に気合いが入ったものです。野球の応援に欠かせない応援団。しかしいつのまにか、と言ったら可笑しいですが、いつのまにか西高の応援団がなくなっていました。1年生の時に応援委員に選ばれて、先輩から厳しい指導を受けて、やっとあの威厳のある振りができるようになって。応援するときは誇らしげに、そして雄大に振る舞い、けれども知性を失わないあの姿は皆さんの青春の1ページに刻まれていることでしょう。

最後の応援団となったのは高50回卒です。ちょうど女子生徒の割合が増えた時期でもあり、応援団の存続も難しくなりました。あの独特な振付はもうなくなってしまったのでしょうか？応援団がなくなって早20年余。現在、野球の応援には生徒会と応援委員会を中心に力を合わせてスタンドを盛り上げてくれているそうです。もちろん吹奏楽部は欠かせません。今はなき応援団を惜しみつつ、皆さんも一度母校の試合に足を運んでみてはいかがでしょうか？

余談ですが応援の「フリーフレー」という掛け声は現在放送中の大河ドラマ「いだてん」に出てきた天狗倶楽部というスポーツ愛好団体が明治に始めたもので、初めは「奮え、奮え」だったそうですよ。



行ってまいりますので、OB・OGの皆様には積極的なご参加、ご協力をお願いいたします。

(会計担当・新村俊明高36回)



弓道

浜西弦友会(弓道部OB会)が10周年を迎えました

「浜西弦友会」は、現役弓道部員を支援するとともに、会員相互の親睦並びに資質の向上をはかることを目的に、平成21年10月に創立され、今年で10周年を迎えました。

主な活動内容としては、総会(6月)、合宿陣中見舞い(8月)、懇親会(11月)、浜西弦友会杯(12月)があります。会員は今年6月現在で62名を数え、10回卒から49回卒まで幅広い年齢のメンバーが集まっています。弓道部の年末恒例行事「弦友会杯」は静岡新聞、中日新聞にも毎年取材をしていただくほど、年末の恒例行事として定着しています。

昭和59年度のインターハイで

日本一に輝いたこともある浜松西高弓道部ですが、近年は全国の舞台から遠ざかっています。再び全国で戦える選手が育つよう、これからも応援していきます。

水泳

浜松西高水泳部OBOG会「泳翠会」の魂「泳心一路」

令和最初のNHK大河ドラマで取り上げられているのは1964年東京オリンピックの招致に貢献した浜松市出身の田畑政治氏である。田畑氏は1948年に日本水泳連盟の会長に就任し、日本水泳界の礎をつくった。当時の日本は敗戦国として世界的に弱い立場にあり、国内が落ち着かない状況でもあった。そんな日本を盛り上げるべく1948年のロンドンオリンピックの出場を目指すも敗戦国という理由でそれが叶わなかった。そこで氏は日本の底力を世界に見せつけるべく、同年の競泳日本選手権をオリンピックの競技日程に合わせて実施することを決断した。

その選手権の400M自由形、1500M自由形に出場し、オリンピックの優勝記録をはるかにしのぐタイムで泳いだのが我ら西高出身、水泳部OBの古橋廣之進氏である。もちろん当時の世界新記録であった。しかし、これに対し世界の反応は冷たく、「日本のプールは距離が短い」や「ストロップウオツ

チの故障だ」と揶揄され、当時日本水泳連盟が国際水泳連盟から除名されていたため公認されることもなかった。

ならばと、田畑氏の計画により翌年1949年の全米選手権に出場し、それでも世界新記録を樹立した。この活躍によりアメリカの新聞には以前の日本選手への揶揄に対する謝罪文が掲載され、古橋氏は「フジヤマのトビウオ」と称された。この呼称は現在の競泳日本代表の愛称「トビウオジャパン」や浜松市総合水泳場「TobiO」(トビオ)の基ともなっている。

古橋氏は現役を引退後も1985年に日本水泳連盟の会長に就任、1990年から1999年まで日本オリンピック委員会(JOC)の会長を務めるなど水泳界のみならず日本のスポーツ界を牽引していった。古橋氏の誇りと志は「泳心一路」という言葉と共に西高水泳部OBOGから現役選手へと紡がれている。

(高20回磯部育夫 監修)

戦争が終わって再び水泳が出来るようになったとき
魚になるまで泳ごうと思った

私の目標は世界一になること
だった

だから人の何倍もの練習を苦しいとも思わなかった

人間というのは大きな目標を持って一筋に努力し工夫し苦しみに耐えてこそ

大きく成長していけるものだと思う

泳心一路 えいしんいちろ 古橋廣之進

西山寮をご存じですか？

西高トリビア

プールサイドにそびえる3階建ての建物、それが西山寮です。約50年以上前に建てられ、その頃の柔道部は寒稽古といって学校のある平日に泊まり込みの合宿をしました。(朝練夜練と続く中のテスト。眠気に耐えられず少しだけと突つ伏したのがいけなかった。終了と言われて顔を上げると紙はよだれの海だった。なんてことも)

現在は外見こそ耐震工事を受けて白く綺麗になっていますが、中は変化なし。通常は演劇部と水泳部が使っています。サッカー部マネージャーも2階厨房でおにぎりを握ることもあるそうです。3階には3階建ての畳ベッドが並ぶ部屋が3部屋。1部屋に36ベッドは壮観です。(収容所に見えなくもない)

最近では百人一首部が合宿したと耳にしました。長期休みには他の部も利用するのでしょうか？恋愛話に花が咲き青春を語り明かすのでしょうか。



なかなか眠れなかった三段ベッド



南向きの窓から、トビウオプールを一望



あの娘に壁ドンしたかった廊下



青春の汗を流した風呂場

活躍する同窓生

2020年

新春の集いに向けて



岩出 洋介(高52回)

ー現在のお仕事は？

浜松磐田信用金庫の職員として法人個人のお客様への営業及び管理の仕事をしています。

浜松磐田信用金庫は、

2019年1月21日(月)に浜松信用金庫と磐田信用金庫が合併し新たなスタートを切りました。合併により営業エリアが広がることで、より一層地域に根差し、地域に愛される金融機関として、更なるお客様の利便性向上と地域社会の発展に全力で努めております。

また、入庫以来、西高の諸先輩方と様々な場面でお会いする機会も多く、良い刺激をもらいつつ私自身も日々成長しながら、業務にはいけなさと感じながら、業務に臨んでおります。

ー西高時代の思い出は？
高校生活3年間はあっという間に過ぎ去ったように思います。

特に思い出深いのは、文化祭の時に、当時流行っていたバンドのコピーをして演奏したこと。私は、ギターを担当していました。放課後、メンバー6名とスタジオに集まって練習。お互いに意見を出し合いながら、ベクトルを合わせ一曲一曲完成させていくことの大変さと達成できたときの喜びは忘れられないです。皆で一つの物語を完成させる、達成するところもあり、大変さと大切さを改めて感じます。

ー今後の目標は？

高52回の代表幹事として2020年新春の集いの成功です。メインテーマである「輪」の文字通り、諸先輩方、同級生、後輩と協力し浜松の地に大輪の花を咲かせたいと思います。皆様、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

浜松磐田信用金庫の職員としては、幹事に携わることで繋がったこの「御縁」をより一層大事にすることで、地域の皆様への夢の実現のお手伝いが出てくるよう、日々業務に邁進していきたいと思っています。

自企業の維持・発展 建設業の仕事に喜びを感じて



豊田 晃央(高52回)

ー現在のお仕事は？

浜松市西区和地町で創業70年になる株式会社浜建(総合建設業)の取締役営業部長として建設・土木・不動産の営業をしております。

総合建設業ということ、住宅や店舗、工場、事務所等々を建てる「建築部門」と、土地を造成したり、インフラを整備する「土木部門」、建物を設計する「設計部門」が主な営業コンテンツになります。近年は老朽化した建物の大規模改修・耐震補強工事などの案件が増えております。

建築土木を通じて、お客様の事業計画に参画し、様々なニーズにお答えすることができた時に最高の喜びを感じます。

ー西高時代の思い出は？

高校生活を振り返ると、文化祭や卒業時に活動したバンドと趣味でやっていたサッカークロスをよく思い出します。バンド活動ではドラムを担当して

おり、その当時、流行っていた邦楽と洋楽のコピーをしてました。もう今ではドラムを叩くことはなくなっちゃいました。

が、ド緊張した文化祭、楽しみながら演奏できた卒業ライブは高校時代の最高の思い出です。

また、個人的にサッカーが大好きで、部活には入っていませんでしたが、気の合う仲間と近くの広場でボールを追っかけてました。どう振り返ってみても、あまり勉強をしたという記憶がありません。

本当にかけがえない時間を過ごすことができた高校生活だったと思いますし、社会人になった今でも、西高の同級生、繋がりから刺激をもらうことが多くあります。改めて西高の絆の強さを感じると同時に、西高の卒業生でよかったなあと感じています。

ー今後の目標は？

先代より70年間続いている今の会社を維持・発展させ、100続く企業に成長させることが私の目標であります。「人と空間 切磋琢磨」、これが弊社の企業理念でございます。不安定で混沌とした世の中に対応するために、無駄のない創意工夫で多種多様なお客様のニーズに的確に答えていきたいと思っています。また、会社がよいパフォーマンスを発揮する為には、社員が会社を好きでいること、社員が仕事にやりがいを持つていることも重要だと考え

地元密着のデザイン 会社を立ち上げ



鈴木 梨紗(高52回)

ー現在のお仕事は？

株式会社B.S.Dという会社を立ち上げて、グラフィックデザイン、WEB制作、アプリ開発などをメインに浜松市で事業を行なっています。

お客様はほとんど地元企業様で、できる限り直接お話しをして、求められているものを把握し、ご提案・制作とワンストップで仕事をしています。

地元だからこそ安心してご依頼いただける、すぐに対応ができる、小さい会社ですが、私たちにしかできないことが沢山ありと実感しています。

プライベートでは趣味のフラメンコやゴルフを楽しみ、同級生や先輩方とも交流させて頂き、忙しい毎日ですが充実した日々を送っています。

―西高時代の思い出は？―

部活動は、女子バレー部に所属していましたが、男子の部活に比べ弱小だったため、体育館をあまり利用することができず、公民館を借りてボールを担いで自転車に乗り公民館で練習をしていました。

それでもみんながむしやうに頑張つて県大会まで行けたことは本当に嬉しく誇りに思っています。現在、バレー部が無くなってしまったのは寂しいですが、当時の仲間が一生の友人であると思います。

部活動に熱中しながら、他にも文化祭で洋服を作つてファッションショーを企画したり、ライブをやったり、応援団のマネージャーをしたり、思い返すと好きなことを色々やらせてもらつていたなと思います。元々何かを作つたり企画したりするのが好きですが、高校時代に培われた行動力が今に繋がっているかもしれません。

―今後の目標は？―

今は仕事にすごくやりがいを感じ楽しんでます。

始めたばかりは余裕がなくて必死でしたが、だんだんと形になってきた会社が少しでも成長させていくことが当面の目標です。

ただ、せっかく浜松で仕事をしているので、地元を盛り上げられるような面白いことを企画して実現できればいいと思っています。

海外で働く楽しみ 活躍する 同窓生

海外で働く楽しみ



須山 賢造 (高52回)

建設関係の会社で仕事をしていることもあり、就職してからほとんどの期間を国内外の建設現場で勤務してきました。大学時代は1度も海外に行つたことは無く、英語も得意なわけでもないのですが、ただ仕事という軽い気持ちで海外勤務を希望して、初めて訪れた国はネパールでした。

仕事は日本のODAとしてカトマンズからインドへ抜ける山岳道路を建設するというのが本当にカルチャーショックの連続でした。特に私が働いていた場所では電気も水道も無く、水牛で田んぼを耕しているような所で人達が暮らしているような所でしたが、そんな中でもたくましく幸せに暮らしている人々を見て世界観が変わったのを覚えています。

ています。また、本当にこんな所でプロジェクトを完了できるの？と不安になりましたが、約2年半現地の人々と協力して無事仕事を完了させることができました。

その後も転職した先でLNGタンク建設のため2年間のインド西部での海外勤務を経験しました。そして今年の5月からはアメリカのジョージア州にてLNGプラントの建設に携わっています。これまでの海外での経験を通して、海外での仕事の醍醐味は、言葉や文化が異なる人々と協力して一つのことを成し遂げることで得られる一体感・充実感ではないかと思っています。

また海外で働く楽しみとしては、仕事だけでなく日本に住んでいたならなかなかできない体験ができることでは無いかと思っています。ネパールではエベレストをはじめヒマラヤヘトレッキングに行くことができ良い思い出として残っています。

最後に、私の海外勤務を理解し応援してくれる家族に感謝したいと思います。特に、新婚1ヵ月後から2年以上のインド勤務、そして1歳の娘を抱えながら職場復帰した直後に決まっていたアメリカへの長期出張に温かく送り出してくれ、日本で頑張っていてくれる妻には感謝で頭が上がりません。



西高卒、未来案内人ここに。 西高トリビア 浜松科学館「みらい〜ら」で会いましょう。

浜松科学館は開館33年目を迎える2019年7月にリニューアルし、「みらい〜ら」という愛称で新たにオープン！これからの新しい時代に向けて、市民に親しまれる科学館として、科学好きな子供と未来を担う人材を育成する科学館に生まれ変わりました。

この科学館で西高卒業生が頑張っていますのでご紹介します。ノーベル賞を受賞した西高卒の天野 浩名誉館長ほか、写真の三人です。真ん中の美女、アテンダントリーダー・松野美保(高54回)。「大人も子供も一緒に楽しめよう」右のハンサム男子はサイエンスリーダー・小粥隆弘(高58回) 昆虫博士として展示解説、工作や実験などのイベントを担当しています。「虫が大好き、話し出したら止まりません。昆虫の世界は面白いよ」そして左の素敵なおじさんは、何と館長の小田木基行(高22回)。「なぜかな？」が解決してまた新たな「なぜかな？」が生まれてくる。そんな？と！の連続が明るい未来を作るんです」「プラネタリウムも一新して、オリジナルの生解説も魅力のひとつです」この三人、「みらい〜ら」で見かけたら、気軽に声をかけてくださいね。

ノーベル賞を受賞した
西高卒の天野さんは
ここの名誉館長



静岡県庁があなたの就活をバックアップ！

しずおかU・I ターン就職サポートセンター

所在地 東京都品川区上大崎 2-25-2 新目黒東急ビル 6 F
TEL 0800-800-6617
メール uicenter@sigma-jp.co.jp
開館 9:00~17:00 (平日及び隔週の土曜日)
支援内容
・就職相談・カウンセリング (要予約)
・県内企業による合同企業説明会・面接会
・県内企業の求人情報の公開

J R 目黒駅西口徒歩 2 分

静岡 U・I ターン就職サポートセンター
オリジナルキャラクター みらいちゃん



卒業60年・傘寿祝いの会

「卒業60年・傘寿祝いの会」に恩師の先生方のご来賀をいただいたのが平成30年10月8日、ホテルクラウンパレス浜松にて盛大に行われました。誠に喜ばしい限りでございます。



当日は参加者62名(同窓生59名、恩師の先生3名)と予想以上の出席があり、大いに盛り上がりしました。思い返せば四十有余年、西高卒業二十年の節目に、グランドホテルにおいて、我ら高十回生の当番により「西山同窓生の会」が過去に類を見ない千人規模の参加を得て行われました。この型は、年度により多少の変化はありますが、現在に受け継がれています。高十回生の足跡の大きさは誇れるべきものでありましょう。さて、高十回生の皆様、次は米寿、白寿、と前を見て参りましょう。人生100年時代と言われる昨今、我々も次回の再開を楽しみに元気に生き抜いて行きたいと思えます。

平成30年10月8日(月)
幹事代表 白柳俊司(高10回)

浜西高三六会

浜西高三六会の皆様から同窓会に寄付金37万2,642円を頂く

浜西高三六会 会計担当 藤谷吉男氏(高13回卒)から浜西同窓会に寄付の申し出がありました。この会は昭和56年1月2日の新春の集い幹事年の時を縁に同窓会を開催し、昭和58年に29名による「浜西高三六会」を発足しました。当初は5年ごとに開催してました。卒業30周年記念同窓会、古希を祝う会など楽しく酒を酌み交わしながら旧交を温めました。



その都度剰余金が出た時に集めたお金が37万2,642円になりました。今年令和元年6月10日に同級生55名が77歳になりました。「喜寿を祝う会」を開催し剰余金を同窓会に寄付することを決めました。同窓会が今後も活発に活動をされることを祈願していただきますとのコメントを頂きました。(7月24日藤谷先輩自宅にて取材より/小田木基行)

第18回西高同窓フォーラム

日本の近代水泳は 浜名湖から

第18回西高同窓フォーラムは、平成30年2月16日ホテルコンコルド浜松で80余名の出席のもと行われました。

第一部は「萩園の間」にて高22回松尾良一氏による「日本の近代水泳は浜名湖から始まった」伯楽・田畑政治とフジヤマのトビウオ・古橋廣之進。松尾氏は浜松市役所を退職後、フリーランスライターとなり、著書5冊。今回はNHK大河ドラマ「いだてん」の主人公の一人でもある田畑政治さん、そして大先輩でもある古橋廣之進さんのお話をいただきました。

第二部は「葵の間」に会場を移動しての懇親会。高17回飯尾強氏による司会にて進められました。高4回今村昭八氏のご挨拶から、高42回佐野憲氏の情報ビジネスのお話(第一部では司会をしてくださいました)、今回は統一地方選挙を控え、県議会、市議会議員候補の7人の方の挨拶もいただき、母校からの出馬にエールが送られました。歓談の合間には高22回竜一樹氏、飯尾氏によるアトラクションも開催されました。また、高40回眞鍋匠氏からゴルフコンペ幹事挨拶、高51回伊藤武郎氏から新春の集い幹事挨拶、高52回



岩出洋介氏から来年1月の新春の集い幹事挨拶の後、恒例の応援歌により閉会となりました。大河ドラマ「いだてん」は第二部となり、いよいよ田畑政治さんが登場しました。舞台は水泳へと変わっていきます。今後のドラマの展開をお楽しみに!! 山本 優美(高40回)

還暦によせて

岩淵 康至(高30回)



二十数年余り続けてきた趣味が高じて、日本三大芸道のひとつ「香道」の指導者となり三年になる。「香道」では毎回「組香」という古の香遊びを行うのだが、その記録の日付には常に「干支(十干十二支)」を用いる。いつの頃から、自分の生まれた年は「己亥(つちのとい)」だと知った。今年の新年度祝の香会で日付が「己亥」になった。暦が一巡して環ってきたのだ。

私の主催する会では、印刷物が多いと市民協働センターをよく利用する。市民団体向けに格安のセルフ印刷のサービスがあるからだ。還暦を迎えた初夏のある日、私はそこで印刷を終えて紙を折る作業をしていた。するとセンターの関係者とおぼしき女性が、私の正面にあったディスプレイを使い、大学生たち「市民協働とは」と説明し始めた。作業をしながら聞くとも無しに聞いていると母校の名が耳に入ってきた。

：平成23年、浜松西高中等部

2年のT君たち5人は、使わなくなった小学生向けの文具を集めては、こづかいで発展途上国の子供たちに送っていた。新年度を迎えようとしていた3月11日、東北を地震が襲った。外国どころではなくなった。何とか命を取り止めた同世代が路頭に迷っている。文具を流され新年度を迎えられないという。急げ。いつものペースでは量も足りない。大勢に発信しなければと公共施設を訪ね歩き、市民協働センターに辿り着く。そこを拠点に翌日から文具集めに奔走。手探りだったが近所のおばちゃんや肉屋さんが鉛筆を持ってきてくれた。やがて善意の輪が広がり、大量の文具が集まり、うれしい悲鳴に。分別・梱包はどうしよう。金は無いが時間はあると若い人たちが集まった。さて大量の荷をどう届ける。縁あって西高OBの運送会社社長がトラック一台を出してくれることに。そして大量の文具が無事に東北の始業式に間に合い届いたという。

資金ゼロから出発した5人の中学生の「何かしなければ」という行動の連鎖こそが市民協働の最たるものだという話だった。彼らはその縁で、浜松と東北の交流事業にも関わり続け、その事業は彼らが高校を卒業した後、現在も続いているそうだ。

…作業が終わっても私は話を聞き続けた。久しぶりに熱いものが込み上げ、西高の同窓生としての誇りを感じていた。

一昔前ならば、還暦という第一線を退き「第二の人生」と言ったものだが「人生100年時代」という言葉さえ耳にする昨今だ。彼らのように「思い」を胸に喜寿を目標にもう一歩進んでみようか。後輩に負けてはいられない。

恩師訪問



小原 範子先生

先生の経歴は？

A 浜松市立高校、東京教育大（現在の筑波大）を卒業後、教員になりました。初めての赴任先は新居高校。その後、気賀高校、農経高校、浜松湖東高校での勤務を経て、浜松西高に赴任しました。教員として最後の赴任先となりました。赴任当時はまだ男子の人数が多かった西高。理系選抜クラスの構成は男子のみで「男クラ」と呼ばれていました。そのため女子の部活もほとんどなく、体育教師の私が手芸部の顧問を務めていました。家庭科の成績悪かったのですが…。

Q 当時の西高生の印象は？

A 「文武両道」「質実剛健」西高生の姿はこの二つの言葉と共に記憶しています。早朝や放課後、暗くなるまで黙々と生徒が勉強している光景には驚かされました。その向上心や勤勉さは勉強だけでなく校内外での行事、部活動などスポーツや文化的な活動でも発揮されていました。西高で初めての卒業式であまりに素晴らしい答辞に感動してしまいコピーをとらせてもらったのですが、西高生の優秀さを改めて感じた場面でもありました。

Q 西高には12年と長くお勤めされていましたが振り返ってみて思うことは？

A 西高に赴任して7年目、ちょうど私が3年生の学年主任を務めていた年に中等部の入試が始まり今まで西高でも行っていたセンター試験が会場に移されました。それまで西高生は慣れ親しんだ環境で比較的落ち着いて臨むことができたセンター試験でしたが、この年からは受験生の緊張をより感じるようになったのを覚えています。中高一貫教育の開始、理数科の開科など大きな変化があったことに加え、赴任当時圧倒的に男子が多かった理系クラスの男女比が定年を迎える頃には半々になるなど様々な変化があった12年間でした。それでも先ほど触れたような西高生の素晴らしさは誰が教えるでもなく、今日の中等部の生徒たちにまで受け継がれていました。これが西高の

伝統の力なのだろうと感じました。

Q 現在も卒業生との交流が続いているようですね

A 初めて担任を受け持った学年の生徒が2年のいつだったか期末テストを終えた日にうちにご飯を食べに来たのがきっかけだったと思います。5、6人のはずが来てみたら20人くらい押しかけてきて…。それから仲の良いグループに分かれて度々遊びにくるようになり、卒業してからも度々訪ねて来ては近況を知らせてくれます。最近では結婚相手や子供を連れて来てくれる卒業生もいます。結婚式に招待してくれることも。照れくさいですが嬉しいですね。自分の中では18歳のまま止まっている子供たちが未来を見せてくれるというのには有難く素晴らしいことです。教師として過ごす最後の場所が西高で本当に良かったと思います。ある程度歳を重ねて柔軟になってから西高に赴任してきたことも卒業生との今の関係に繋がっているのかなとも思っていますね。

Q 今はどう過ごされていますか？

A 昔から続けているジャズダンスを今も楽しんでます。今年こそラストステージと言いついてから20年経ってしまいました。ジャズが思うように上達しないので、基礎から学ぼうとクラシックバレエのレッスンも受け始めました。体力が衰えて

きたのでパーソナルトレーニングを受けて筋力維持にも努めています。身体が動かなくなっても音楽を楽しめるようにコーラスグループにも参加し始めました。やりたいことが沢山ある割に、始めるとやめたくなるので増えていく一方です。手芸部顧問を経験したお陰で編み物も趣味の一つになりました。自分です勝手に毎日を忙しくしています。が楽しく過ごしています。





西高OBOG 限定特典 割引協力店のご紹介

西山台で過ごした
時代は違っても、西高への思いは今も胸に…。

ご縁がありましたら気軽に
声をかけてください「西高卒業です!」と。

笑顔でお待ちしております。

すべて有効期限は
2020年3月31日まで



ニシコー
245球無料!
県外の方、
土日ショート半額!

- ※1. 同窓会報が届いた封筒をご持参ください。
- ※2. 初来店は24球、二回目は245球無料。(但し打席料250円はかかります。)
- ※3. 県外の住所の方は、土日のショートコース半額でご案内!
- ※4. 下記HP参照ください。チャレンジカップあります!



西山でも行くか!皆さんのそんな場所でありたい…

西山ゴルフセンター

静岡県浜松市西区西山町 604-1 www.nishiyama-golf.jp/245

TEL.053-485-3250

■営業時間/月～金 9:00～21:30 土日 8:00～21:30

ゴルフ練習場



浜松初・世界が認めた
〈SHAOL〉の
知育玩具を
特別価格で提供!

SHAOL 知育玩具販売店



フリーランスのエディター・ライター・デザイナー集団

メ切三昧

浜松市西区篠原町 14220-1 iluclu 2F-9

TEL.090-9907-7410

■営業時間/11:30-18:00 ■定休日/不定休

高 49 回卒
野寄晴義



本紙を見たと言って
不動産売却の
相談を頂いた方に、
QUOカード1,000円分
プレゼント!

不動産業者



地元に密着した不動産屋です。スピーディな対応がモットーです。

株式会社トレスト

浜松市中区中央3丁目 1-26 JR 浜松駅より約 690m徒歩約 9 分

TEL.053-459-0811

■営業時間/9:00-18:00 ■定休日/土・日・祝日

高 49 回卒
白柳卓一



チャージ代 1,000円→500円になります

ジャズバー・ライブハウス



月に4・5回ライブあり、普段はJBLサウンドでお楽しみ!

HERMIT DOLPHIN ハーミットドルフィン

浜松市中区田町 326-25 KJスクエア2F

TEL.053-451-1807

■営業時間/19:30-Midnight ■定休日/日・月・祝日

高 30 回卒
檀 和男



記念写真撮影の
お客様に、
ポストカードブック
プレゼント!

浜松市西区の写真館です



七五三、赤ちゃん写真、成人式、家族写真、証明写真など撮影します

ササダ写真館

浜松市西区館山寺町 1427-4 www.sasadaphoto.com/

TEL.053-487-0074

■営業時間/9:00-19:00 ■定休日/火曜日

高 49 回卒
笹田浩太郎



フラメンコ 2019 熱風三夜

浜松公演 10/28(月) 29(火) OPEN 18:45 START 19:15

LiveHouse 浜松 窓枠 ・一般席(前売り)=5,500円(当日)=6,000円 ・学生席:各日20席=3,500円 (価格はすべて税込)
浜松市中区板屋町 100-10 ●板屋町交差点至近 東海道沿い ●遠鉄電車「第一通り駅」より徒歩5分 ●JR「浜松駅」より徒歩7分
※全席別途ドリンク代 500円が必要 ※未就学児入場不可 ※学生席は小・中・高校生を対象とし、1階または2階最前列の座となります ※高生は当日学生証の提示が必要 ※学生席の申込み、及び窓口販売は10月15日まで

チケットのお求めは

メールにてお申込みください ①お名前 ②公演日 ③枚数 ④チケット送付先 ⑤電話番号 ⑥メールアドレスを明記し下記まで

[E-mail] oleconolearsaytoma@gmail.com ※左記アドレスからの返信を受信できるよう設定をお願いします

浜松公演・西高割引採用 メールお申込みで 先着30名さま 一般、学生ともに500円引きです

後援:浜松市、静岡新聞社・静岡放送、K-mix、FM Haro! 協力:スペイン料理 エル・カミーノ、SBSプロモーション

〈歌〉マヌエル・デ・ラ・マレーナ
エミリオ・フロリド
〈ギター〉鈴木 尚
〈踊り〉ロシオ・ロメロ
大塚 友美(高34回卒)
河野 麻耶

※プログラムの一部は、日替わりとなります

ARSA TOMA

フラメンコスタジオ アルサイトマ

<http://www.arsaytoma.jp>

平成31年度(平成31年4月進学) 入試結果概要

入試合格状況

	平成31年度			平成30年度			平成29年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
国公立大	97	13	110	85	18	103	102	22	124
私立四大	510	67	577	462	49	511	529	53	582
国公立短大		1	1				1		1
管外大・学校				2		2	3		3
各種専門学校	10		10	6		6	3		3

国公立大学	平成31年度			平成30年度			平成29年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
北見工業大									
室蘭工業大									
北海道大		1	1	3		3	1		1
弘前大									
岩手大				1		1	1		1
東北大	1		1	1		1			
宮城教育大							1		1
茨城大	3		3		3	3	1		1
筑波大	6		6	2		2	3		3
宇都宮大							1		1
群馬大	1		1				1	1	2
埼玉大							1		1
千葉大	4		4	2		2	3		3
お茶の水女子大							1		1
東京大	2		2		1	1	2	2	4
東京医科歯科大							1		1
東京外国語大	1		1						
東京学芸大	3		3	4	1	5	2		2
東京芸術大		1	1						
東京工業大	3		3	2		2			
東京海洋大	1		1						
東京農工大							1	1	2
一橋大	2		2	2		2	1		1
電気通信大	1		1				1		1
横浜国立大				1		1	3	1	4
山形大	2		2				1	1	2
福島大									
新潟大	1		1		1	1	1	1	2
金沢大	2		2	2		2	1	2	3
福井大	2		2				1		1
富山大		1	1						
山梨大							2	1	3
信州大				3		3	3		3
静岡大	15		15	16	3	19	14	2	16
浜松医大	5	2	7	6		6	3	1	4
愛知教育大	2		2	2		2			
豊橋技術科学大									
名古屋大	2	2	4	1	1	2	7	1	8
名古屋工大	4		4				1	1	2
岐阜大	1		1	1		1	2		2
三重大	1		1		1	1			
滋賀大	1		1	1		1			
京都大	3	1	4	3	1	4	3		3
京都工芸繊維大				1		1			
京都教育大									
大阪大	1	1	2				2		2
大阪教育大	1		1						
神戸大	2		2	2		2	5		5
奈良教育大									
奈良女子大	1		1	1		1	1		1
和歌山大				1		1			
岡山大				1		1	1		1
広島大	3		3	2	1	3	1		1
鳥取大	1	2	3						
山口大									
高知大	1		1						
徳島大									
香川大									
愛媛大				1		1			
九州大	1		1	2		2			
佐賀大									
長崎大									
宮崎大				1		1			
鹿児島大							1		1
琉球大	1		1		1	1			
宮城大				1		1			
国際教養大									
茨城県立医療大							1		1
群馬県立県民健康科学大				1		1			
前橋工科大							1		1
高崎経済大									
首都大東京	2		2	4	1	5	3		3

横浜市立大	1		1		1			
神奈川県立保健福祉大						1		1
都留文科大	2		2	1		1	2	2
金沢美術工芸大						1		1
公立小松大	1		1					
山梨県立大				1		1		
長野県立大	1		1					
岐阜薬科大								
静岡県立大	5		5	6	1	7	9	9
静岡文化芸大	1		1	1		1	2	2
愛知県立大	1		1				3	3
名古屋市立大							2	2
福井県立大	1		1	1		1	1	1
京都府立大								
京都府立医科大		1	1	1		1		
大阪市立大				1		1		
大阪府立大							1	1
兵庫県立大		1	1				1	1
岡山県立大							1	1
県立広島大							2	2
広島市立大				1	1	2	1	1
高知工科大	1		1					
北九州市立大								
九州歯科大							1	1
長崎県立大							1	1
名桜大								

私立大学(抜粋) (管外大・学校を含む)	平成31年度			平成30年度			平成29年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
慶應義塾大	5	6	11	8	2	10	9	2	11
早稲田大	15	3	18	10		10	13	2	15
明治大	32	6	38	24	1	25	14	2	16
立教大	7	2	9	10	1	11	12	1	13
法政大	13	1	14	6		6	20	1	21
同志社大	21	9	30	10	2	12	13	3	16
立命館大	39	4	43	27	7	34	34	7	41
関西学院大	7	6	13	1	1	2	6	1	7
関西大	9	1	10	3		3	7		7
近畿大	15	1	16	8	5	13	12	2	14
上智大	6		6	4		4			
中央大	12	2	14	12	2	14	18	2	20
青山学院大	8	1	9	9	1	10	4		4
東京理科大	12	4	16	13	3	16	7	6	13
芝浦工大	10	1	11	8	1	9	8	4	1
東京農大	3		3	3	3	6	9		12
明治学院大	2		2	10		10	3		3
日本大	12	4	16	10	1	11	15	4	19
東洋大	7	1	8	7	1	8	8	2	10
駒澤大	2		2	10		10	5		5
専修大		1	1	11		11	8	1	9
常葉大	33		33	31	1	32	33		33
聖隷クリストファー大	12	1	13	8		8	12		12
南山大	12		12	8	1	9	13	1	14
名城大	13	2	15	7	1	8	27	2	29
中京大	13		13	8		8	13		13
愛知大	9		9	10		10	20		20
愛知学院大	4		4	1		1	4		4
藤田医科大(改名)	2	1	3	9	3	12	4		4
獨協大				2		2	1		1
文教大	3		3	2	1	3	1		1
学習院大	2		2	2		2	1		1
北里大	1		1	7		7	8		8
国際基督教大	1		1						
順天堂大	7		7				1		1
帝京大	1		1		1		6		6
東海大	7	1	8	10		10	5	1	6
津田塾大	4		4	4		4	2		2
東京女子大	5		5	2		2	1		1
日本女子大	2		2						
東京都市大	2	1	3	2		2	2		2
神奈川大	5	1	6	6	1	7	12		12
岐阜聖徳学園大	8		8	4		4	2	1	3
豊田工業大		1	1	4		4	2		2
京都女子大	2		2	2		2	3		3
同志社女子大	4		4	3		3	5		5
龍谷大	5		5	11	2	13	9		9
関西外大	2		2	3		3	2		2
気象大学校									
防衛大学校							3		3
防衛医科大									
海上保安大学校									
水産大学校									

医学部医学科 (2,3と重複掲載)	平成31年度			平成30年度			平成29年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
国公立	3	4	7	4	2	6	2	2	4
私立(含自治医等)	1	10	11	9		9		4	4

※推薦・AO・補欠合格等を含みます。

※私立総合計欄は、表記以外のすべての私立大学合格を含みます。

西山賞受賞者

西山賞とは「全国レベルで特に優れた業績・功績を挙げた生徒」に対して、4部門別(文化芸術部門、スポーツ部門、善行部門、科学部門)に同窓会から卒業時に授与されるものです。

中 等 部

▼文化芸術部門

リコーダーコンテスト
四重奏の部 銀賞

小田 理乃
飯山 史織
川又 優香
松橋 佑

弦楽部団体(15名)

▼科学部門

創造ものづくり・科学の甲子園
村松あきら

山本 峻太
高橋 莞太
岩倉 礼旺
大橋 光稀
小岩 泰治
鈴木 雅啓
大泉 遼

▼スポーツ部門

テニス
団体(6名)

水泳
齊藤 龍平(400Mリレー)
植屋 日志(400Mリレー他)
神谷 真生(400Mメドレーリレー)
鈴木 雅晴(400Mリレー他)
鈴木 夕葵(400Mリレー他)
高木 翔理(400Mメドレーリレー)
野寄 雄大(400Mリレー)
吉野 遥陽(400Mリレー他)

高 等 部

▼文化芸術部門

ソロ&アンサンブル部門 銀賞
弦楽部団体(6名)

百人一首
ベスト8

読み手コンクール第2位
読み手コンクール第3位
鶴田楓羽歌

国際文化(英語スピーチ)

大石 愛華
袴田 真央

囲碁将棋(囲碁県団体戦メンバー)
吉田 綾

▼スポーツ部門

ボート

田口 晴那
(シングルスカル、クオドルプル)
高田 涼花(ダブルスカル)
松島 諒太(クオドルプル)

陸上

前田 李々香(1600Mリレー)
竹田 菜都(1600Mリレー)
大隅 亮太(1600Mリレー)
小出 杏(1600Mリレー)
岡本 新(1600Mリレー)
谷高 真依(走幅跳)
大滝 佐和(走幅跳)
村石 優太(1600Mリレー)



会 報 編 集 委 員

編集委員長

小田 木基行(高22回)
伊藤 守行(高23回)
土屋 公良(高26回)
岩淵 千江(高39回)
山本 優美(高40回)
原野 扶有美(高46回)
小杉 哲康(高47回)
榎本 貴文(高47回)
北岡 美子(高49回)
藤田 信行(高50回)
内藤 仁美(高51回)
竹田 圭吾(高51回)
豊田 晃央(高52回)
松芳 圭吾(高52回)
岩出 洋介(高52回)
細谷 俊介(高52回)



HAMANISHI 2020



“新春の集い”

日時 2020年1月2日(木)【受付】14:00～【開会】15:00

場所 グランドホテル浜松「鳳凰の間」

主催 静岡県立浜松西高等学校同窓会

特別講演

「2020年から未来へ テレビ放送の進化」

進化する映像技術・放送メディアを実際の映像と共にお届けします！

講師 NHK 放送技術研究所 池谷 健佑 研究員(高52回卒)

SPORTS 4D MOTION

～メインテーマ～

輪
WA
ONE FOR ALL,
ALL FOR ONE.

今年の
メインテーマは
“輪”です！

2020年新春の集い司会
フリーアナウンサー
鬼頭 里枝(高52回卒)

浜松西高52回卒同窓会幹事会【FAX】053-533-3657【MAIL】access.hamanishi52@gmail.com

チケットの
お問合せ

090-6020-0775(細谷 俊介) 090-6579-0621(齊藤 隆幸)

広告の
お問合せ

090-1982-4190(豊田 晃央)